

# たじひのだより

No. 21

特集 松原市の新しい指定文化財

丹南・来迎寺

## 融通念佛縁起絵巻



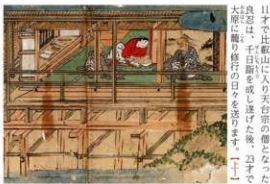
融通念佛の教えを広めた良忍の生涯と  
念仏にまつわる霊験譚を記した絵巻

**融通念仏縁起絵巻とは**

この絵巻は、平安時代の僧良忠の生涯と念仏の縁起をいたした下巻の作題です。鎌倉時代末に最初の絵巻が作られた以後、江戸時代末まで多くの讀本が作られました。それと同時代に合わせアレンジが加えられた、當時の生活や文化を知る手がかりがきます。松原市丹内にある融通念仏茶会寺院の英遊寺・丹内本山英遊寺に代わる絵巻は、南北朝時代に作られた絵巻を戦国時代に書き写したものです。

本巻身の絵巻は、後の融通念仏の思想を形作り、美しげな場面もあふれ、動的に描き分けられています。縁起の部分は、各場面をひとりの良忠の姿で表現し、各場面間のつながりも、良忠の姿で表現されています。

**1 良忠の飯山修行と大衆動行**



良忠は、千日修行の功徳を修め、大衆に修行の旨を説き及ぼす。良忠は、千日修行の功徳を修め、大衆に修行の旨を説き及ぼす。

**2 阿弥陀如来の念仏直授**



良忠がすすんだらるるの修業も、夢に阿彌陀如来から念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**3 融通念仏の縁起開始**



融通念仏の縁起開始。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。



**4 里沙門天の名僧加入**



里沙門天の名僧加入。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**5 良忠の鞍馬寺参詣**



良忠は、鞍馬寺に参詣し、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、鞍馬寺に参詣し、念仏の修業の旨を授けられた。

**6 諸天神神の名僧加入**



諸天神神の名僧加入。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**7 鳥羽畜生の念仏結縁**



鳥羽畜生の念仏結縁。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。



**8 良忠入滅**



良忠入滅。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**9 賞殿の夢**



賞殿の夢。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**10 鳥羽院の日課念仏増加**



鳥羽院の日課念仏増加。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**11 広隆寺女院の念仏修行**



広隆寺女院の念仏修行。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。



**12 和泉守道結女の入道と臨終**



和泉守道結女の入道と臨終。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**13 城南寺僧侶の念仏は父母往生**



城南寺僧侶の念仏は父母往生。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**14 青木尼公の往生**



青木尼公の往生。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**15 木寺御堂の牛糞を免る**



木寺御堂の牛糞を免る。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。



**16 北白川の下僧の妻、間彦丹が**



北白川の下僧の妻、間彦丹が。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**17 正信受戒**



正信受戒。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**18 光明道照**



光明道照。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。

**19 阿弥陀如来の放つ光は世を照く照ら**



阿弥陀如来の放つ光は世を照く照ら。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。良忠は、念仏の修業の旨を授けられた。



## 絵巻の奥書に 残されたメッセージ

融通念仏縁起絵巻はどの時代のものにも最後に奥書があり、制作者や奉納者の名前、そして目的などが記されています。来迎寺の絵巻には4つの奥書があり、最古の絵巻誕生から来迎寺に絵巻が寄進されるまでの約300年にわたりに込められたメッセージを読み取ることが出来ます。

### ■第1の奥書

現存しない最古の絵巻に記された奥書を写したものです。まず初めに、絵巻は良忍(1073-1132)が勧進に使用した名帳を下敷きに作られたことを記し、次に良忍の死後にも名帳は代々引き継がれ、今では多くの者が名帳に加入していると続けています。そして、絵巻に描かれた数々の靈験のとおり念仏と縁を結び名帳に加入することで災難を載い來世の往生が約束されることと記します。最後に、この絵巻が一般(在家)の男

女に念仏の教えを広める目的で作られたものであることを述べ、「正和3年(1314)11月上旬にこれを記す」で筆を置いています。後の時代に作られた絵巻は、良忍の始めた念仏勧進とその志を正しく引き継いでいる事を示すためこの奥書を写しています。

正和3年の作とされる最古の絵巻は残されていませんが、鎌倉時代末の転写本がシカゴ美術館とクリーブランド美術館(左写真)に分かれて収蔵されており、最古の姿を知ることができます。



The Illustrated Miraculous Origin of the Yuzu Nehibutsu  
Cleveland Museum of Art  
https://www.clevelandart.org/art/1956.01

クリーブランド美術館(アメリカ合衆国)蔵

### ■第2の奥書

南北朝時代の永徳(1371-1378)至徳(1378-1381)に良鎮(没年不詳)という勧進聖が制作した絵巻の奥書で、来迎寺に伝わる絵巻の底本に記されていたものです。「永徳年中良鎮沙門謹言」から始まり、彼が日本の北の果てである蝦夷(オホshima)から南の果ての硫黄島(いわうか嶋)まで全国に念仏の教えを広めるため、絵巻100本を制作したと記されています。また、この絵巻を見て念仏と縁を結んだ人々が記名した名帳を供養し、浄土信仰の聖地である當麻寺(奈良県葛城市)にある曼荼羅堂の本尊である當麻曼荼羅の瑠璃地に納めると続いています。

良鎮が制作を試みた絵巻は上下巻あわせて30メートルにもなる長大なもので、これを約100本も作るためには多くの費用が必要でした。そこで、彼は大和国の賢問者から絵巻を寄進してもらうことで実現を目指しました。そのため、巻末には良鎮の奥書に続

けて寄進者の名前や寄進した年などが記されています。来迎寺の絵巻には、中臣俊章という大和国葛下郡片岡東の国人が母親を弔うために至徳3年(1386)に寄進したと記されています。

中臣俊章(中臣俊章) 中臣俊章

この時期に作られた絵巻は、絵や文章の表現がある程度自由にするのが許されており、来迎寺の絵巻はフリーア美術館蔵の絵巻(前頁の場面2・16)とも共通点がありますが、知恩院の所蔵する絵巻と最も表現が似ています。

### ■第3の奥書

底本となる絵巻から写された際の奥書です。室町時代の文龜2年(1502)に真言僧の行慶が主体となり写されたことが記されています。

文龜貳年八月廿日 真言僧行慶

先程の良鎮ですが、彼は手描きの絵巻100本を完成させた後、明徳2年(1399)に絵巻の木版画化に成功して

います。以後、絵巻が多く刷られたはずですが、良鎮が最初に手がけた絵巻も転写され重要な遺産として受け継がれたことがわかります。

### ■第4の奥書

江戸時代の元和9年(1693)に布忍清水村(現在の松原市南新町)の喜兵衛入道浄安により奉納された際に記された奥書です。これに先立ち、来迎寺を開いたと伝わる法明(1279-1349)の物語を記した『融通大念仏龜鏡之縁起』が慶長5年(1600)に寄進されており、信仰集団の起源と正当性を明らかにする宝物としての性格が生まれました。ところがわかりました。

石鏡漢大徳寺 縁起書浄安  
其北之親 若志清水村喜兵衛  
入道浄安 若志清水村喜兵衛  
如來來迎寺 礼敬 喜兵衛 謹啓

元和九年 六月廿九日

